特集

決意、新たに

コロナ禍の影響で、昨年の開催が叶わなかった令和３年成人式。１年越しに、ようやく開催へ―。決意を新たに大人への一歩を踏み出した、令和３年、令和４年、それぞれの成人式の様子を紹介します。

1_校区ごとに記念撮影。振袖とスーツに背筋が伸びる　**2**_バルーンを前にハイチーズ　**3**_「久しぶりー!」。友人との再会に笑顔がこぼれる　**4**_お楽しみ抽選会　**5**_延期になった後も準備を進めてきた実行委員会のメンバー

1年越しの成人式開催

「令和３年成人式」は12月26日、松前公園体育館で開催され、対象者３３４人のうち１４５人が出席しました。今回の成人式のテーマは、「いまさきほこれ、まさきっ子」です。

記念撮影の後行われた式典の部では、実行委員会の皆さんが母校の校歌を交えながらあいさつ。「松前町で生まれ育った誇りと成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます」と述べました。

続いて行われたイベントの部では、代表者による「新成人の主張」のほか、お菓子セットなどが当たる「抽選会」を実施。参加した皆さんは、１年越しに開催できた式典に、喜びをかみしめていました。

次のページで、代表者３人のスピーチを抜粋して紹介します。

check!

当日撮影した写真を、町公式インスタグラムとフェイスブックに掲載していますのでぜひご覧ください。

▶ 町公式インスタグラム
@ masakicho_official

フォローミー!!

▶ 町公式フェイスブック

※（　　）は出身校

「教師になりたい」―。10年来の夢を一途に追う

石田 優華（いしだ ゆうか）さん（松前中）

私が大切にしている二つの言葉を紹介します。まず一つ目は、「おかれた場所で咲く」です。特にコロナ禍で、この言葉が私の支えになりました。今の状況に文句を言うのではなく、今できる自分のベストを尽くす―。その先には、「咲く」、つまり成長することができるのだと信じています。

二つ目は、「特急列車に乗り遅れるな」です。生きているとさまざまなチャンスが巡ってきますが、「旬」を逃すと特急列車のごとく過ぎ去ってしまいます。決して「旬」を逃さず、またそもそも特急列車が来ていることにしっかり気付けるよう、これからの人生でも意識していきたいです。

家族はもちろん、学校の先生や地域の方、友達や先輩、後輩など、たくさんの人に支えられ、ここまで成長することができました。これからは、もらったたくさんの恩を返すことができるように、生きていきたいと思います。まだまだ元通りの生活とはいきませんが、毎日を大切に、全力で過ごしていきましょう。

自分の考えを確立し、日々の積み重ねを大切に―

松本 龍生（まつもと りゅうき）さん（岡田中）

現在私は、大阪の専門学校で臨床検査技師を目指しています。臨床検査技師とは、病院で行われている検査・検体採取の大半を担っている医療技術職です。私は3カ月間、臨地実習という形で医療の現場を体感しました。そこで働く職員の皆さんは、当たり前のように頻発する不測の事態にも臨機応変に対応し、次々と問題を解決していきました。そして皆さん口をそろえて、「日々の準備と練習が大切」と教えてくださいました。それでも予期せぬ出来事はいつだって起こり得ると思います。そして、その時に自分の本当の実力が発揮されるのではないでしょうか。その実力は日々の生活の意識やそれによる準備により磨かれ研ぎ澄まされていくものです。だからこそ、今後はたくさんのことに挑戦し、経験し、困難や壁を乗り越えていきたいと思います。

最後に、コロナ禍の厳しい状況ながら、1年越しにこのような式を挙行していただきありがとうございました。今後も一層精進してまいります。

皆同じ町で育った家族。成人式も大切な思い出に―

村上 陸斗（むらかみ りくと）さん（岡田中）

近年世界的に流行している新型コロナウイルス。その影響の一つに今日の成人式も含まれています。約1年の延期となりましたが、中止にはせず、こうして式を開いてくださった関係者の方々に深くお礼申し上げます。

そんな愛あふれる松前町でキング・オブ・ミレニアムベイビーとして育った私はこの町が大好きです。今日こうした形で、みんなで集まれてよかったと思います。休みのたびに遊ぶ人、はたまた中学ぶりに会う人もいるでしょう。今日はそんないろんな人に会えるめったにない機会です。あの日叶わなかった恋も今日なら叶うかも。僕も叶えちゃおうかな、あの日の恋。冗談です。安心してください。

冗談はさておき、私はこのスピーチに自分の人生が詰まっていると思っています。「どんな状況であれ、同じ空間にいる人には楽しんでもらいたい」それが私のモットーです。これまで変わらずにいられたのも、家族や友人、そして松前町のおかげです。

本日は、ありがとうございました。

令和４年成人式　葵花向日（きかこうじつ）～未来を見つめて～

令和４年成人式を開催

「令和４年成人式」は１月９日、松前公園体育館で開催され、対象者３５１人のうち２３８人が出席しました。今回の成人式のテーマは、町花ひまわりにちなんで、「葵花向日～未来を見つめて～」です。

各校区ごとに記念撮影をした後、式典の部がスタート。成人の誓いでは、吉田歩生（よしだあゆき）さん（松前中出身）、三好悠太（みよしゆうた）さん（北伊予中出身）、酒井翔太郎（さかいしょうたろう）さん（岡田中出身）の３人が小学校の校訓を交えながらあいさつし、「どのような状況に置かれても、自分を信じて全力を尽くし、未来を切り拓いていきます」と決意を述べました。

続いて行われたイベントの部では、代表者による「成人の主張」のほか、景品をかけたクイズ大会を実施。実行委員会作成の恩師出演動画で、「エミフルＭＡＳＡＫＩが開業したのは、みんなが何年生のときか」など地元にちなんだ問題が出題されると、参加者たちは、昔を懐かしみながら楽しんでいました。

コロナ禍での式典開催に感謝の気持ちを述べながら、旧友との再会を喜んだ新成人は、力強く大人への一歩を踏み出します。

check!

当日撮影した写真を、町公式インスタグラムとフェイスブックに掲載していますのでぜひご覧ください。

▼町公式インスタグラム
@ masakicho_official

▼町公式フェイスブック

1_ 会場前で記念撮影
2_ お祝いの言葉に背筋を伸ばす
3_ 各小学校の校旗を掲げて「成人の誓い」
4・5_ 松前町にちなんだクイズを出題。動画は実行委員会が手作りしたもの

Coming of age day　20歳の誓い

実行委員を務めた17人に、新成人としての決意や今後の抱負を聞きました。

成人を機に、さらなる挑戦を

西本柊哉（にしもとしゅうや）さん　三好悠太（みよしゆうた）さん　山下塔矢（やましたとうや）さん

心機一転　新しい自分に

大塚誠悟（おおつかせいご）さん　吉田歩生（よしだあゆき）さん

今までもこれからも、出会う人との縁を大切に

友永萌花（ともながもも）さん　郷田怜那（ごうだれいな）さん　長井智咲（ながいちさき）さん

令和4年
成人式

新成人の主張

イベントの部で披露された3人のスピーチを、抜粋して紹介します。

※（　　）は出身校

心配ごとは考え過ぎず、1人で不安にならないで

山下 塔矢（やました とうや）さん（北伊予中）

皆さんは「強迫性障がい」をご存知でしょうか。例えると「病的なまでの心配性」です。僕はここ2年ほど、「家の鍵閉めたかな」など身の回りの心配ごとを解決するために家と道路を3～5往復ぐらいする…といった生活を送ってきました。

そんな中で身に付けた教訓が、「人生自分が思っているようにはならない」です。心配ごとって案外その通りにならないものだなと思います。いい意味で。大体の場合鍵はちゃんと閉まっているし、電気も消しています。これから先、就活など不安なこともあるかと思いますが、そんなとき、このスピーチを思い出してくれるとうれしいです。きっと何も起こりません。不安なことも起こりませんし、理想的に物事が進むこともそんなにありません。でもそれでいいと思います。

しかし、結局一番いいのは誰かに相談することです。今皆さんの周りには大切な仲間がいます。この機会に、久々に会う友達に、何かぶっちゃけてみてもいいかもしれませんね。

自ら考え、行動し、結果に責任を負える「大人」に―

郷田 怜那（ごうだ れいな）さん（岡田中）

今、私には「医師になる」という目標があります。大学入学と同時にコロナ禍が始まり、医療現場でのやりきれない焦燥感が、ただの医学生である私たちにも、ひしひしと感じられる日々―。こうした現実を目の当たりにして、夢や憧れだけでは目指せるものではないと痛感しました。

そんな厳しい環境でも、目指そうと思えるのは、今まで出会った多くの「縁」に支えられているからです。どんな私でも受け止めてくれて、医療に興味を持つきっかけにもなった幼なじみ―。心の底から笑ったり、悩みを打ち明けたりできる友人がいます。私の選択を全力で応援し、背中を押してくれた恩師がいます。自堕落な私に容赦なく愛を持ってダメ出しをしてくれる家族がいます。「大人になる準備」という大切な時期に私の根幹を支え、育ててくれた故郷、それが松前町です。今まで選んできた道を、出会った人との縁を、今後の力にして、私の目指す「成人」に近づけるよう、より一層精進します。

愛媛から全国に笑顔や元気を届けたい―

河内 裕里（こうち ゆうり）さん（松前中）

私は現在、大学に通い地域の伝統文化を学ぶとともに、メディアでの活動に力を入れています。

松前町の伝統文化である「はんぎり競漕」に、中学校3年生から毎年参加していたら、たまたま多くの人の目に留まり、注目していただけるようになりました。ありがたいことに、テレビ番組などに出演する機会をいただき、さらにはんぎりや松前町の魅力を発信することができました。同時に私自身の活動の幅も広がり、多くの人と関わることで大変貴重な経験をさせていただいています。

昨年はいろいろなことに挑戦する中で、結局自分が何をしたいのか分からなくなることもありましたが、今の目標は、「ローカルスター」です。これには、「愛媛から全国に笑顔や元気を届ける」という気持ちも込められています。この言葉を胸に、今後も愛媛を中心に活動していきたいです。

最後に、家族や友人、私に関わってくれた多くの人にとても感謝しています。本当にありがとうございます。

Coming of age day　20歳の誓い

頼りがいのある男の中の漢に

酒井 翔太郎（さかい しょうたろう）さん
中塚 貴琉（なかつか たける）さん

何事にも本気で取り組む

二宮 良太（にのみや りょうた）さん
上田 健太（うえだ けんた）さん

和やかな大人の女性に

清水 ののか（しみず）さん
河内 裕里（こうち ゆうり）さん
山内 恵（やまうち めぐみ）さん

今まで以上に努力を惜しまない

三津田 倭（みつた やまと）さん
小手川 太一（こてがわ たいち）さん